

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：社会学Ⅰ ILAS Seminar :Sociology I		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,Haruka Shibata		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・First semester		Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Mon.2
Classroom	3A, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. North Wing				Language of instruction	Japanese
Keyword	社会学 / 幸せ / 生き方 / 親密性（友人関係・恋愛・結婚・家族）					
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)						
[Overview and purpose of the course]						
「幸せ」「生き方」「親密性」といった担当教員の研究テーマを参考にしながら、受講者各人が、現代のさまざまな社会現象や、自分自身の人生・生活上の問題について、自らの関心に即して、社会学などの先行研究（関心に最も近い査読論文1本以上）を参照・批判しつつ、独自の発想を加えた考察を行い、発表をする。 さらに、その発表内容について、出席者全体で発展的議論を行い、互いの考察を深め合う。 またその際、担当教員は、社会学の思考法を活かした発言をすることで、社会学の思考法を参与的かつ実践的に伝授する。						
[Course objectives]						
社会学の思考法を用いて、現代のさまざまな社会現象や自分自身の人生・生活の背景にある「しくみ」（社会構造とコミュニケーションの相互影響関係）を、初歩的な水準で分析・説明・議論できるようになる。						
[Course schedule and contents]						
基本的に以下の計画に従って授業を進める。ただし、受講者の状況などに応じて、内容を変更する可能性がある。						
第1回 ガイダンス（発表の仕方、先行研究の検索方法）、受講者各人の発表日程の決定。 第2回～第4回 先行研究の選び方の相談会や、討論の練習を行う。 第5回～第12回 毎回1～2名が発表する。発表では、「社会現象や人生・生活についての問い」、「その問いに最も近い先行研究（査読論文1本以上）の整理と未解決点」、「その未解決点に関するできるだけ客観的な独自考察」、「問いへの暫定的な答え」、「考察の限界と今後の課題」を、レジュメに沿って口頭発表する。そのあと、出席者全体で発展的議論を行う。 第13回 予備日 第14回 まとめの討論 第15回 フィードバック（詳細は授業中に説明）						

Continue to ILASセミナー：社会学Ⅰ(2)↓↓↓						

ILASセミナー：社会学Ⅰ(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（発表内容50点＋討論参加50点＝100点満点）によって評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

（Related URL）

<https://sites.google.com/site/harukashibata/profile>(教員紹介のページ)

[Study outside of class (preparation and review)]

予習は、今後の自分の発表のための準備を入念に行うこと。

復習は、毎回の授業内容をふりかえり、関連情報を調べる。不明点については、口頭かメールで教員に質問すること。

毎回の予習・復習の時間配分は、予習120分（平均）、復習120分を目安とする。

[Other information (office hours, etc.)]

総合人間学部の「基礎演習：社会学Ⅰ」（総人定員5名程度）と共通の授業。

履修人数を発表スケジュールに適した人数に制限する。

また、「感染による履修上の配慮」が必要となった場合には、急遽、Zoomを用いたハイブリッド形式に切り替え、対面参加者もZoom上で発言をしてもらう可能性があるため、Zoomにアクセスできる端末（ノートPC等）とイヤホン（できればイヤホンマイク）を毎回持参すること。

[Essential courses]